

## アンケート

はじめに、中期計画において取り組む主な政策課題についてお伺いします。

第1回のアンケートの結果などを踏まえ、中期計画において取り組む主な政策課題について以下のとおり、とりまとめました。

### 中期計画において取り組む主な政策課題

国際競争力の確保	地域の自立と活力の強化	安全・安心の確保	環境の保全と豊かな生活環境の創造
<b>■物流ネットワークの形成</b> ○基幹ネットワークの整備 ○拠点的な空港・港湾からICへのアクセス改善 ○国際標準コンテナ車の通行支障区間の解消	<b>■地域のネットワークの形成</b> ○生活幹線道路ネットワークの形成 ・医療施設等の広域的なアクセスの確保 ・市町村合併の支援 ・観光拠点へのアクセス確保 など <b>■慢性的な渋滞への対策</b> ○渋滞対策 ・環状道路・バイパスの整備 ・公共交通利用の支援 など ○開かずの踏切等を除却する対策 ・開かずの踏切対策 ・連続立体交差事業 など	<b>■防災・減災対策</b> ○耐震対策 ○防災・防雪対策 ・斜面对策・生命線道路 ・通行規制の緩和 ・防雪対策 など ○安心な市街地形成 ・密集市街地の防災対策 <b>■交通安全の向上</b> ○交通事故対策 ・道路の交通事故対策 ・自転車道の整備 など ○通学路の歩道整備 ○踏切の安全対策 <b>■安全・安心で計画的な道路管理</b> ○日常管理や橋梁等の修繕・更新	<b>■地球温暖化対策</b> <b>■道路環境対策</b> ○大気質対策 ○騒音対策 <b>■生活環境の向上</b> ○バリアフリー化 ・バリアフリー歩行空間整備 ・駅前広場 など ○無電柱化
国際競争力の確保、地域の自立と活力の強化、環境の保全等に資する既存道路の有効活用			
<b>■既存高速ネットワークの効率的な活用・機能強化</b> ○高速道路料金の引下げ、スマートICの設置など		<b>■ITSの推進</b>	

#### 【質問1】

あなたは、上記の中期計画において取り組む主な政策課題についてどう思いますか。（自由回答）

次に、この政策課題に対して講じる施策の重点方針の基本的考え方及び各施策の重点方針の概要についてお伺いします。

## 政策課題に対して講じる施策の重点方針の基本的考え方

国民の意見を聴きながら、客観的データを用いつつ、施策の性格に応じた重点方針に基づき、課題の程度・整備効果・費用等を踏まえ、対策を実施する。

### <基本的考え方>

①課題を効率的に解決する観点から、各課題箇所を整理し優先順位を明確化し、効果の高いところについて優先的に対策を実施する。 【イメージ①】

対象：渋滞対策や交通事故対策など道路によって生じる問題を解決する施策

【各施策の重点方針の概要】

②安全・安心な国民生活を維持する観点などから、地域の実情を踏まえ対応すべき対象を明確化し、その部分に対して集中的に対策を実施する。 【イメージ②】

対象：生活幹線道路ネットワークの形成、防災・減災対策など安全・安心な国民生活を維持する施策等

【各施策の重点方針の概要】

注) 高規格幹線道路については、既に完成した地域とこれから整備する地域ではその整備への要望に対する意識が大きく異なることから、民営化時と同様の手法を用いて、個別路線ごとに点検を行う。

【点検について】

※上記資料の【イメージ①・②】、【各施策の重点方針の概要】、【点検について】は、P 3～5を参照

### 【質問2】

あなたは、上記の基本的考え方及び各施策の重点方針の概要についてどう思いますか。(自由回答)

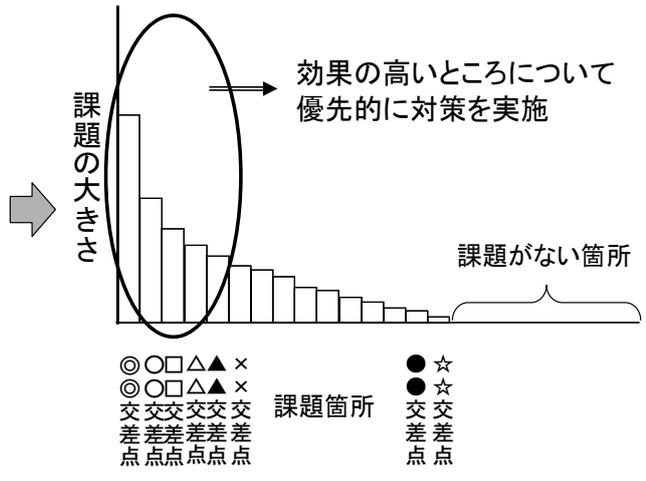
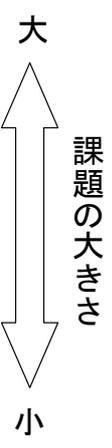
## 【イメージ①】

### 重点方針の基本的考え方 イメージ

効果の高いところについて優先的に対策を実施(例: 渋滞対策、交通事故対策)

課題箇所を課題の大きい順に整理

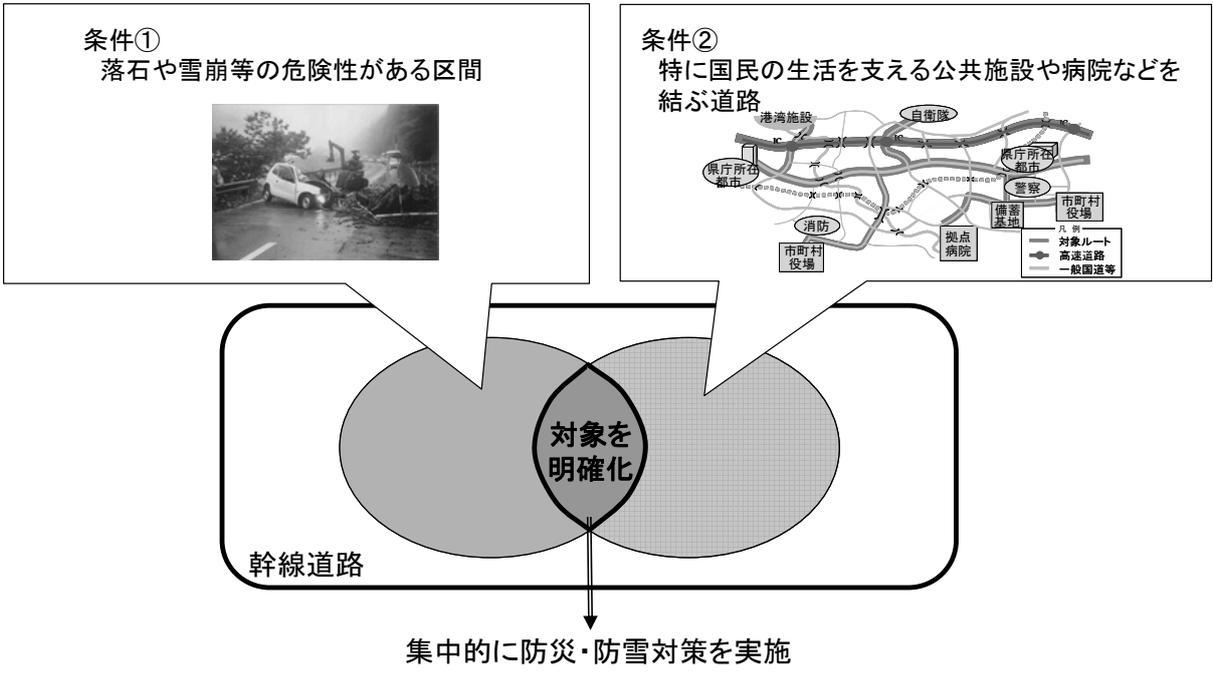
課題箇所	課題の大きさ
◎◎交差点	◎◎
○○交差点	○○
□□交差点	□□
△△交差点	△△
▲▲交差点	▲▲
××交差点	××
.	.
.	.
●●交差点	●●
☆☆交差点	なし



## 【イメージ②】

### 重点方針の基本的考え方 イメージ

対応すべき対象を明確化し、その部分に対して集中的に対策を実施(例: 防災・防雪対策)



## 【各施策の重点方針の概要】

### 政策課題に対して講じる施策の重点方針の概要一覧

施策	具体的な重点方針の概要
拠点的な空港・港湾からICへのアクセス改善	すべての空港・港湾のうち、わが国の国際競争力を強化・維持していくために重要な役割を担う拠点的な空港・港湾に対して、集中的にICへのアクセス改善を実施していくこととします。
国際標準コンテナ車の通行支障区間の解消	国際物流基幹ネットワークのうち、橋梁の強度やトンネルの高さの問題等により国際標準コンテナ車が通行上支障となる区間に対して、対策を実施していくこととします。
生活幹線道路ネットワークの形成	通勤や通学、買い物や救急医療など日常生活上の支障の程度を考慮して、生活幹線道路のうち、急勾配・急カーブ等により走りにくい道路や車両の進入やすれ違いができない道路等に対して、地域のネットワークとして機能するよう集中的に対策を実施しようと考えています。
渋滞対策	地域の実情を踏まえ、混雑の発生頻度などに応じ、効果の高いところについて優先的に対策を実施しようと考えています。
開かずの踏切等を除却する対策	全国の踏切のうち、長時間遮断機がおりていること等により、渋滞が発生している踏切に対して、対策を実施していくこととします。
耐震対策	緊急輸送道路で大規模な地震により通行不能となる恐れのある橋梁のうち、広域支援部隊等が移動するための県庁所在地間を結ぶ広域的な道路に対して、集中的に耐震対策を実施しようと考えています。
防災・防雪対策	幹線道路で落石や土砂崩れ、地すべり、雪崩などの危険のある区間のうち、国民の生活を支える公共施設・病院などを結ぶ道路や孤立集落発生のおそれのある道路に対して、集中的に防災・防雪対策を実施しようと考えています。
安心な市街地形成	防災上の懸念がある市街地のうち、木造家屋が密集し、大火の危険性が高い地区に対して、集中的に対策を実施しようと考えています。
交通事故対策	幹線道路のうち、死傷事故率の高い区間など事故の多い区間について優先的に対策を実施しようと考えています。
通学路の歩道整備	歩道のない道路のうち、多くの児童が利用するなど、事故の危険性の高い通学路に対して、集中的に対策を実施しようと考えています。
踏切の安全対策	全国の踏切のうち、歩行者や自転車が多く、歩道が狭くなっている踏切などに対して、安全対策を実施していくこととします。
橋梁等の修繕・更新	大切な資産である道路ストックを長く大事に保全し、安全で安心な道路サービスの提供やライフサイクルコストの縮減等を図るため、定期的な点検により、早期に損傷を発見し、事故や架け替え、大規模な修繕に至る前に対策を実施していくこととします。
地球温暖化対策	地球温暖化を防ぐため、自動車からの二酸化炭素の排出量を減らすことや、排出された二酸化炭素を吸収する樹木を増やすための対策等を実施していくこととします。
大気質対策	NO <sub>2</sub> 、SPM濃度が環境基準を超過し、沿道で大気汚染が発生しているところに対して、大気質対策を実施していくこととします。
騒音対策	夜間騒音要請限度を超過しているなど沿道騒音の状況が厳しいところに対して、集中的に対策を実施していくこととします。
バリアフリー化	高齢者や障害者等が日常生活又は社会生活において利用する駅や官公庁等の施設を結ぶ道路及び駅前広場に対して、集中的にバリアフリー化を実施しようと考えています。
無電柱化	中心市街地で人が多く通る道路、歴史的街並みを保存すべき地区の道路、人口が集中する地区で災害時に物資を輸送するための道路に対して、集中的に無電柱化を実施しようと考えています。

各施策の重点方針の概要は、アンケート調査のホームページ (<http://www.douro-keikaku.jp/>) により閲覧可能（渋滞対策の事例はP5参照）

# 【各施策の重点方針の概要（渋滞対策の事例）】

## 渋滞対策について

地域の実情を踏まえ、混雑の発生頻度などに応じ、効果の高いところについて優先的に対策を実施しようと考えています。

### （全国の状況）

- ・渋滞による損失時間は、年間で約33.1億人時間
- ・貨幣価値換算すると約10兆円の損失に相当
- ・全国約2.3万箇所<sup>※</sup>にて混雑が発生

このうち、混雑の発生頻度などに応じ、効果の高いところについて優先的に対策を実施しようと考えています。

（※：VICSにて渋滞情報が提供されている一般道路並びにその他の国道・都道府県道等において、混雑の発生頻度が10%以上となっている箇所数）

VICS：渋滞状況、所要時間、工事・交通規制等に関する道路交通情報をカーナビゲーションシステムに提供するシステム（Vehicle Information and Communication System）

### 混雑

平均旅行速度20km以下の状態のこと。なお、この状態は、信号交差点においては、2回以上信号待ちとなる状態に概ね相当

### 混雑の発生頻度

平日、休日それぞれ一定の時間帯を5分刻みにし、このうち混雑が発生している時間帯数の割合を集計。例えば、下図の例では、5日間の平日朝3時間データ（全180）のうち72の時間帯で混雑が発生していることから、混雑の発生頻度は40%

	7時台	8時台	9時台
9/1	●	●	●
9/2	●	●	●
9/3	●	●	●
9/4	●	●	●
9/5	●	●	●

●：平均旅行速度が20km/h以下となる時間帯

### （東京都における状況）

- ・東京都においては、約1,500箇所にて混雑が発生
- ・東京23区内を走る交通の約14%が区内に起終点を持たない通過交通で、慢性的な渋滞の大きな要因



【環状8号線 東京都杉並区上高井戸1交差点付近】

### （福島県における状況）

- ・福島県においては、約400箇所にて混雑が発生
- ・国道6号いわき市中迎交差点付近においては、片側1車線の道路に通勤交通等が集中し、朝夕を中心に渋滞が発生



【国道6号 福島県いわき市中迎交差点付近】

## 【点検について】

### 高規格幹線道路に関する点検について

（参考）

中期計画の作成にあたって、高規格幹線道路については、道路関係四公団の民営化時と同様の「高速自動車国道の総合評価手法」<sup>注1)</sup>を用いて点検を実施

#### ①点検対象区間

高規格幹線道路のうち、民営化時に総合評価を行った区間以外で、全ての未供用区間（H19年度末時点）を対象とする。

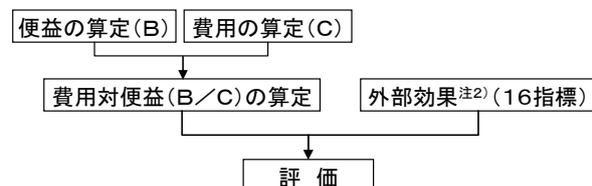
#### <点検対象区間の延長>

高規格幹線道路の延長	約14,000km
— 民営化時に評価を行った区間の延長	9,342km
— 民営化時に評価を行っていない区間のうち平成19年度末までの供用延長	1,787km
点検対象区間の延長	約2,900km

#### ②点検方法

民営化時と同様の「高速自動車国道の総合評価手法」を用いることとし、費用対便益に加え、外部効果も加味して評価する。

参考：道路関係四公団の民営化時に用いた「高速自動車国道の総合評価手法」の主な流れ



注1)「高速自動車国道の総合評価手法」の詳細な内容については、<http://www.douro-keikaku.jp/pdf/hyouka.pdf> を参照

注2)「住民生活」、「地域社会」、「地域経済」、「環境」、「安全」などの分野への波及的影響

次に、中期計画を効率的・効果的に進めるために必要となる基本的視点についてお伺いします。

## 中期計画の推進にあたっての基本的視点

### ○選択と集中による効果的な事業の実施

- ・政策課題を明確にし、地域の実情を踏まえ、効果の高いところについて優先的に対策を実施するなど、重点的に取り組みを推進

### ○厳格な事業評価の実施とコスト縮減の推進

- ・事業評価の厳格な運用
  - ・計画から管理までの総合的なコスト縮減の取り組みと品質の確保
  - ・供用目標や進捗状況の積極的な公表
  - ・事業工程の徹底した管理
  - ・技術開発の積極的な推進
- など

### ○既存道路の効率的、効果的な利用

- ・高速道路料金の引下げの実施
  - ・路上工事対策の推進
- など

### ○透明性・公正性の確保

- ・事業のプロセスの透明性の確保
  - ・事業の実施にあたって、国民の意見が反映される取り組みの推進
- など

### ○多様な主体との連携

- ・国、地方公共団体などそれぞれの適切な役割分担のもと、これらの連携による効果的な整備の推進
  - ・地域住民と連携・協働した道路行政の推進
- など

### 【質問3】

あなたは、上記の基本的視点についてどう思いますか。（自由回答）

次に、中期計画の構成案や計画の対象、期間、見直しについてお伺いします。

## 中期計画の構成案

1. 策定の趣旨  
(背景、策定理由など)
2. 計画の基本的な事項
  - ・計画の対象、期間、見直し
  - ・計画の推進にあたっての基本的視点
3. 計画において取り組む主な政策課題
4. 政策課題に対して講じる施策の重点方針
5. 整備目標と事業量  
(今回の問いかけを踏まえ、政策課題毎に整理する予定)

参考資料

注：構成案については想定であり、今回の問いかけ結果などに応じて変更する場合もある。

## 中期計画の対象・期間・見直し

1. 計画の対象  
整備目標を達成するため講じる施策には地方公共団体が単独で行う事業も含まれるが、事業量は国の負担・補助に関する部分を整理する方向で検討。
2. 計画期間  
国民の視点に立った分かり易い成果を提示するとの観点を重視し、道路事業の実施に要する期間も勘案して、概ね10年とする方向で検討。
3. 計画の見直し  
社会経済の動向、財政事情等を勘案しつつ、弾力的にその実施を図るとともに、国民の意見を聴きながら、必要に応じ見直しを行う方向で検討。

### 【質問4】

あなたは、上記の構成案等についてどう思いますか。(自由回答)

最後に、ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことについてお伺いします。

【性別】

男性    /    女性

【年齢】

・ 20 歳未満    ・ 20～24 歳    ・ 25～29 歳    ・ 30～34 歳  
・ 35～39 歳    ・ 40～44 歳    ・ 45～49 歳    ・ 50～54 歳  
・ 55～59 歳    ・ 60～64 歳    ・ 65～69 歳    ・ 70 歳以上

【お住まい地】

都道府県及び区市町村名